

平成27年8月5日  
近畿総合通信局

## 戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)の 平成27年度研究開発課題の追加公募

総務省は、情報通信技術分野の競争的資金である「戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)<sup>※1</sup>」のうち、重点領域型研究開発「スマートネットワークロボット」において、平成27年度から新規に実施する研究開発課題の公募を行います。

近畿総合通信局(局長:上原 仁(うえはら ひろし))では、公募にあたり、平成27年8月19日(水)に公募説明会を開催いたします。

### 1 公募期間

平成27年8月5日(水)から9月4日(金) 17時まで  
(郵送の場合は、同日付必着)

### 2 公募を行うプログラム

次のプログラムにおいて、提案を公募します。公募の概要及び評価のポイント  
は別紙のとおりです。

戦略的情報通信研究開発推進事業 (SCOPE)	研究開発 期間	研究開発予算 (単年度)	採択予定 件数
重点領域型研究開発 (スマートネットワークロボット)	最大 2か年度	最大 1億円程度(※)	1~2件程度

※間接経費 30%を含む。

公募の詳細は、下記の総務省報道資料をご参照下さい。

「戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)の平成27年度研究開発課題の  
追加公募」

○URL [http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01tsushin03\\_02000138.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000138.html)

### 3 応募方法

- 提案要領をご確認の上、提案書作成要領に従い、提案書を作成してください。
- 提案に当たっては、以下のウェブページに掲載する研究開発課題の提案要領及び

提案書作成要領をご覧ください。

([http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/scope/](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/scope/))

○応募は、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）<sup>※2</sup>による電子申請を行うとともに、総務省への「提案書の提出」が必要です。提案書の提出先は次のとおりです。

**【提案書提出先】**

総務省情報通信国際戦略局 技術政策課研究推進室

担当：宮澤（茂）課長補佐、宮澤（貴）専門職

電話：03-5253-5731 FAX：03-5253-5732

(E-mail) [seiten\\_atmark\\_ml.soumu.go.jp](mailto:seiten_atmark_ml.soumu.go.jp)

(スパムメール防止のため、「@」を「\_atmark\_」と表記しています。メールをお送りになる際には「\_atmark\_」を「@」に置き換えてください。)

#### 4 公募説明会の開催

開催日時：平成27年8月19日（水）13時30分～

開催場所：総務省 近畿総合通信局 4階会議室

(大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎第1号館)

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/intro/guide/accessmap/index.html>

定員：50名程度（登録順）

申込期限：平成27年8月11日（火）17時

申込方法：申込期限までに、上記の提案書提出先あてお申し込み下さい。

応募数が多数の場合には1機関で参加可能な人数を調整させていただくことがあります。

なお、公募説明会への参加は応募の必須要件ではありません。

#### 5 その他

その他ご不明な点に関しては、本件連絡先までお問い合わせください。

※1 SCOPE: Strategic Information and Communications R&D Promotion Programme

※2 <http://www.e-rad.go.jp/>

**【連絡先】**

情報通信部 情報通信連携推進課

担当：青野、高橋、山田

電話：06-6942-8623

平成27年度重点領域型研究開発「スマートネットワークロボット」の  
公募の概要及び採択評価の主なポイント

1. 公募の概要

	対象とする研究開発領域	研究開発期間	研究開発予算※ （単年度）	採択予定 件数
重点領域型研究開発 スマートネットワーク ロボット （重点領域Ⅱ）	<p>【人の心に寄り添うコミュニケーションロボット】</p> <p>ロボットが、人の動きをセンシングしたり、脳情報から人の感情や潜在意識等を把握することにより、スマートフォンやロボットを通じて、心の通った（人の心に寄り添う）コミュニケーションを実現するため、人・ロボット会話技術、状況認識・理解・推論・再現技術、感性・データマイニング・伝達技術、感情生成・表現モデル等の技術を対象とする研究開発領域</p>	2か年度	最大1億円程度	1～2件程度

※1 間接経費 30% を含む。

※2 予算状況等により、変更することがあります。

2. 採択評価の主なポイント

重点領域型研究開発 スマートネットワーク ロボット （重点領域Ⅱ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採択評価は、専門評価（第1次評価）及び総合評価（第2次評価）の2段階により実施します。</li> <li>・専門評価では、提案されたスマートネットワークロボット技術の先進性や研究開発手法等について、さらには中小企業等を含む研究開発・成果展開に向けた計画・体制の妥当性等を中心に評価を行う。</li> <li>・総合評価では、専門評価で認められたスマートネットワークロボットの研究開発と実証実験を一体的に推進する体制が構築されているかどうか、研究成果が生み出すイノベーションや新市場や新産業創出への貢献度合いなどを中心に評価を行う。</li> </ul>
--	--